絵本通宝志

繪本通寳志巻之二目録

迦陵頻（かりようびん） 左 四人

袍（はう）あか金紋（きんもん）

小蝶（こてふ） 右 四人

袍（はう）もえぎ金紋（きんもん）
小袖（こそで）白（しろ）
羽衣（はごろも）
雲繝（うんげん）
冠り金

安麻 左 二人

冠 細纓 老懸

ぞうめん

装束ハ平舞

前挿 裾

蘇利古 右 五人

散手
左
貴徳
右
抜頭

還城樂 左
面 朱
眼中 白
ひたひ 朱
面帽子 紫
石帯 金
奴袴 朱
蛇 金
朱
朱

左方之樂屋
樂頭
袍 朱
紋ハ丸文
ちらし
地紋
白
白

太鼓之圖
巴ハ水ト表スとあり 閫白水東南ニ流 曲折三迴ノ巴字ノ如シト云
鞠精神之像
左 夏安林 面赤 朱仕立
正 春楊花 面緑 ロクセウ
右 秋園 面白 胡粉
面人ノゴトク、手足猿ノゴトクト有 後世神ニ祭ル故ニ三神ヲ合體トシ冠衣ノ像ニ畫者欤
ウス
朱

競馬之圖

畫之精神眼中にあらわる

飛鳥部の常則が雲林院の
さうじに雛の形をゑかき
しありけるを真の鶏
来りて蹴

鍛冶之図（かぢのづ）

宮殿之圖
宮殿ハ楼閣
堂塔ニ至ル迄の
業として是式
ニつゝ之を建る
司あり
棟妻
搏風
懸魚
六葉
狐隔子
長押
椽
隅木
萱負
角扭首
登勾欄

金彫細工奇妙之図

千歳（せんざい）
仕立ハ三番叟のごとく
翁（おきな）

妓婦（きふ）
女楽也（ぢよがく）
拝舞（ちうまひ）
烏立烏帽子に白き水干を着て鞘巻を差て舞しそれハ
余り事〻しとて水干計りにて舞ゆへに白拍子と云
白
白
白
金
朱
ひようれうんぜう
うらごふんりやうどふん
扇子骨黄かね金入
鈴泥ふさ朱
足袋うとかうし

狂言

業平舞　女歌舞妓
又大小乃舞
金
金